

津波に備えよう

どこで津波の被害に遭うか分かりません。津波から逃れるために、自宅や学校、職場、旅行先の「津波の避難場所」を確認しておきましょう。また、日頃からさまざまな場面を考えて、避難ルートや災害時の行動などを家族や周りの人と話し合っておくことが重要です。

❖ 津波警報・注意報

津波による災害の発生が予想される際には、気象庁が地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報、津波注意報を発表します。その後、「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」などの津波情報を発表します。

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、 <u>ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難</u> してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、大津波・津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	 木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m超 (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (20cm<高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、 <u>ただちに海から上がって、海岸から離れて</u> ください。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近いしたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流出し、小型船舶が転覆する。

気象庁は、地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配が無い場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、津波予報(若干の海面変動)を発表します。

❖ 津波から身を守るために

●「より高いところ」を目指して避難する。

津波は低い場所を襲います。海や川から離れ、高い所へ避難しましょう。



●津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまでは避難を続ける。

はじめの津波より後に来る津波が大きいこともあります。

●揺れを感じていなくても、津波警報を見たり聞いたりしたらただちに避難する。

揺れが小さくても大きな津波が起こることもあります。



Point

ためらわずに高台に避難しましょう。